

境を眺めてみますと、私たち大人が気がつかなくてはならないようなことが一杯あるようです。これも先に実施したアンケートにより、今日の社会環境が青少年に好ましくない影響を与えている

るという回答が大部分で、自動販売機などについては全廃すべきだというのが八〇%を占めています。このような問題について、まず少年の立場からどのように考えますか。意見を聞かせてください。

必要な社会環境の浄化

— 映画・雑誌などに刺激

— されてが全体の65% —

性補導件数

園田 いま言われた中で雑誌は非常に僕たちに身近かにありますね。みんなよく見てるようです。低俗なものなんです。これも無理に押えつけてもいけないんじゃないでしょうか。僕たちぐらいになればごく自然のこととして性に興味を持つんですね。性の問題をより正しく理解させるために、まずどうしたらよいかということが問題で、避けて通れない問題だと思えます。

御池 お母さん方は、案外とポルノ雑誌を見ていらっしやらないんですね。この前、婦人会でこのようなポルノ雑誌を見てみたんですが、非常に扇情的な内容なんです。お母さん方は大変にびっくりされていたようです。親が遅れているというか、社会を知らなすぎるんじゃない

でしょうか。

中熊 中学生のうち九〇%の子供がこのような雑誌をみています。これもアンケートの結果ですが、約半数がイヤライとか、見たくないという感じを持っています。何んとも思わない子が二〇%、ショックを受けたというのが以外に少なく、一%位でした。

馬原 ところが、現実には決してそうじゃありません。五十一年の性関係の補導件数は県内で四百七十七件なんです。映画、雑誌に刺激されているのが全体の六五%を占めており、やはり大きな影響を与えているのではないのでしょうか。園田 私は法的な規制も、業者の自主規制も必要だと思いますが、教育面でもっと子供に抑制力を養うことが大事だと思います

御池 私たちが自動販売機の撤去を申し入れますと、私たちの校区ではなくなりませんが、やがて、他の校区に移っているということがあります。なかなか難しいことですが、やはり、環境浄化は総ぐるみ運動というものが大事ですね。そういう意味で私たちは健全育成の面でも、よその子供に非行の芽がではじめたら、お互いに連絡を取り合って、その芽を早めに摘むということが必要だということ

で、組織づくりとともに地域の連帯感づくりにつとめております。園田 法的規制もやってもらねばならない

□家庭・学校・社会□

非行防止は三者の連けいで

— 早めに非行の芽を摘もう —

青少年の 非行防止

岡本 いろいろな意見が出ましたが、結局環境浄化の問題では規制の強化や住民生活の展開、適切な教育といった総合的な

対策により対処していかなければならないということが結論のようです。今後、みなさんもそれぞれの立場で環境浄化に努めていただきたいと思えます。次に非行防止対策の問題についてご意見をいただくわけですが、はじめに補導体験の中から最近の非行の特徴などお話を願います。

不満、異性問題など、そういうものがゴチャゴチャ出てきて、一体何が原因で非行に走ったのかということが、よく分らないというのが現状ですね。遊び型非行といわれるものでしょうか、享乐的な非行が目立っています。馬原 最近多いのが家出です。これは戦後最高ですね。それも、不純異性交遊から発展した家出が多いんです。お母さん方は自分の子に限ってとおっしゃいます。ところが、実際にぶつかった時にオロオロされるんです。家出のケースではありませんが、前にこういう事例がありました。ある家庭の女の子が不純異性交遊をしているということで家庭訪問したんです。すると「うちではそういうことはありません」と自信を持っておっしゃるんです。「私たちが夫婦が玄関の近くにやすすますから、絶対にそういうことはありません。よその子でしよう」と言われる。子供に聞いてみると、親が寝てしまっから風呂場の窓から抜け出たと言っています。こうなるまでには、必ず服装や言葉づかい、動作などに変化が表われてくる筈です。よく子供の行動を観察していただくと分るもんなんですがね。まあ、私がいゝるんな非行事例に接して、総じて言えることは親子の対話不足ということですね。

園田 どの学校も同じことだと思えますが、自転車の盗難がよくあるんです。そこに自転車があったから乗った、用が済んだから捨てたというように、なにが善悪の基準がなくなったような気がします。こういう事をしたら悪いんだ、人に迷惑をかけることになるんだということが意識として働いていないんですね。岡本 そういったことが、今言われている遊び型非行といわれるものですね。罪悪感がないんです。ところが最近、青少年ばかりでなく、大人にもいえるのではないですか。それも若いお母さん方に指摘されているようです。これは一つの例ですが、万引をした少年のお母さんが「うちの子は何を盗んだんでしょうか、いくら払えばいいんですか」と金さえ払えば文句ないだろうといった態度をされたという時、その希薄な罪悪感にガク然としたわけですが、保護者として、大人として無責任極まることだと思えます。御池 確かにそうですね。中熊 私も身近な例ですが、前に県外の警察から子供を保護したということで連絡を受けたんです。家庭はさぞ心配されているだろう。連絡したら飛んで迎えに行かれるだろうと思っていたら「親が連れに行かんといかんんですか」という返事が返ってきてビックリしたことがあるんですが、こんなことがありますが、親が非行の種をつくっているような気がしてなりません。学校としては、さつき園田君の話にも



▲刺激的な社会環境は青少年に大きな影響を与えます